

# 第1学年1組 生活科授業案

## 1 単元 羽根井小が大好き！パート2 ～つうがくろでみつけたよ～

### 2 単元目標

- ・通学路探検を通して、通学路の様子とその安全を守っているものや、毎日の登下校を支えてくれる人の存在や子どもたちを見守っている思いに気づくことができる。(知識・技能)
- ・通学路の安全を守っている人々について着目することで、自分たちの登下校の様子を振り返り、安全な登下校の仕方について考えることができる。(思考・判断・表現)
- ・羽根井小に愛着をもち、安心かつ安全な学校生活を送るために、自分の生活の中でできることを考え行動しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

### 3 単元の構想

#### 児童の実態

##### 【日常の様子】

- 小学校生活で初めてのことも、がんばろうとしている。
- どの友達にも優しく、困っている子がいると自分から手伝うことができる。
- 自分の言葉で話をする子が増えてきている。また、話を真剣に聞くことができるので、理解が早い。
- コラボノートの使い方を覚え、自分と同じ思いや考えの友達を見つけることができるようになった。

##### 【学習の様子】

- 「なかよし探検」では、友達と名刺交換をしたり、教師のサインを集めに行ったりすることを積極的に取り組んでいた。
- 「学校探検」では、施設の役割について学び、そこにいる教師たちに興味をもった。
- 教師たちが普段何をしているのか興味をもち、「先生探検」として、何度も見学に行ったり、質問をしに行ったりしていた。「先生のひみつクイズを作ろう。」と、もっと知りたいことがあると、自ら話を聞きに行く子もいた。

#### 教師の願い・思い

- 羽根井小に愛着をもち、楽しく安心して学校生活を送ったり、安全な登下校をしたりすることができるようになってほしい。
- 安心して通い、学べる羽根井小で、自分がやってみたいことを実現しようとする子にしたい。

#### 教材観

- ・学校生活に関わる活動を通して、学校での生活はさまざまな人や施設・設備と関わっていることがわかり、楽しく安心して生活したり、安全な登下校をしよう意識を高めたりすることができる。
- ・いつも歩いている通学路は子どもたちにとって身近なものである。そこで見つけたものを共有し合うことで、自分たちを守ってくれているものや人に目を向けることができる。そして、その理由を考えることで、それらのものに込められた思いや人々の願いに気づくことができる。
- ・通学路の安全を守っている人々や施設・設備がわかることで、ルールやマナーを守って安全に登校しようと考えたり、安心した学校生活を送るために自分たちができることを考えたりしていくきっかけになる。
- ・新入学児童交通安全教室で指導してくださった大河さんは、羽根井校区で交通安全指導員として毎日通学路に立ってくださっている。安全を見守るさまざまな人々の中において、長年いろいろな子どもたちと接しているからこそ、子どもたちへの思いや願いを伝えられる存在として最適である。

#### 指導観

##### <わくわく>

- ・いつも歩いている通学路には何があるのかと問いかけた後、教師と一緒に歩きタブレット端末で撮影し、大型テレビに映して紹介することで、それぞれの通学路の「安心」を見つけていく。

##### <ふむふむ>

- ・通学路とはどんな道なのかと問いかけ、なぜ通学路を歩くのかを考える。見つけた「安心」を実際に行ったり、Google マップのストリートビューやタブレット端末で撮影した画像や動画を見たりすることで、標識や看板等の安全に関する情報を共有し、自分たちを守ってくれている施設や設備、人々の思いや願いを話し合いながら考えていく。

##### <ぐんぐん>

- ・安全を守ってくれている人の思いや願いを確認し、関わってくれている人々へ感謝の気持ちを伝える手段を考える場を設定する。また、自分たちの登下校の様子を振り返らせ、安全に通学するための作戦を考えさせる。さらに、安心かつ安全な学校生活をおくるために、ポスターをつくって安全を呼びかける等、自分たちができることを考えていく。活動や話し合いを通して、羽根井小により愛着を深め、自信をもって生活していこうと思いを高める。

4 単元構想図（13時間完了 本時10/13）

<学習活動・子どもの意識の流れ>

校長先生って、こんな先生だよ

- ・毎朝通学路に立って、みんなのことを見ているよ
- ・わたしたちと元気な挨拶をするのが楽しみって言っていたよ
- ・わたしたちを笑顔にしてくれる人だね
- ・通学路のいろいろなところで待ってくれているよ

わたしの通学路のいいところを教えたいな 1・2

<緑方面>往完・錦

- ・ダイソーや交番があるよ
- ・大河さんが朝、立っているよ

<赤方面>花中・中郷

- ・広い歩道があるよ
- ・歩道橋が2つもあるよ
- ・大河さんは帰りにいるよ

<黄色方面>羽根井

- ・家がたくさんあって道がくねくねだよ
- ・池や川もあるよ

通学路探検だね!

- ・通学路にはいろいろなものがあるね
- ・校長先生みたいに挨拶してくれている人もいるんだね
- ・こっちの道の方が近道だよ

通学路を歩かないとだめなのはなんでだろう  
通学路ってどんな道なのかな

通学路のひみつを見つけないな 3・4

<もの>

- ・歩道橋
- ・ガードレール
- ・信号機
- ・横断歩道
- ・標識
- ・看板
- ・歩道
- ・カーブミラー
- ・子ども110番の家

<してくれていること>

- ・学友団で登校
- ・方面別下校
- ・町別集会
- ・地区での話し合い

<人>

- ・校長先生
- ・晴久先生
- ・交通指導員の大河さん
- ・旗当番の人
- ・近所の人
- ・通学班の班長さん

通学路にあるものをよく見てみたい 5・6・7

- ・歩道橋を通った方が安心なんだね
- ・ガードレールがあると、車の道と区別がついて歩きやすいね
- ・標識には意味があるんだ

- ・通学路には、安全のことを考えたものやしていることがたくさんあるね
- ・立ってくれている人はわたしたちのことを考えてくれているんじゃないかな

どうしていろいろな人が立っているんだろう  
通学路にいる人はいつも何をしているのかな

通学路にいる人をよく見てみたいな

8・9・10(本時)・11

<学校の先生>

- ・どの先生も笑顔で挨拶してくれるよ
- ・「気をつけてね」と優しく声をかけられるよ

<交通指導員の大河さん>

- ・わたしたちが安全に道を渡れるように、最後まで見てくれるよ
- ・毎日、晴れの日も雨の日も暑い日もずっと待っていてくれるよ

<地域の人>

- ・同じ場所に旗当番の人が立ってくれているよ
- ・同じ人が「いってらっしゃい」といつも言ってくれるよ

- ・通学路にこんなにたくさんの「安心さん」がいてくれうれしいな
- ・いろいろな人が「安心さん」になってくれているんだね
- ・どうして「安心さん」をやってくれているのかな

- ・校長先生や晴久先生は、みんなが笑顔で学校へ来るのがうれしいんだって

- ・大河さんは、わたしたちの元気な挨拶を聞くと、自分も元気になるんだって
- ・交通安全教室で習ったことをずっと覚えていてねって言ってたよ

- ・みんなの安全を守るために旗当番をやっているって、お母さんが言っていたよ

- ・通学路に本当の「安心さん」がいてくれてうれしいな

わたしたちは「安心さん」をちゃんと安心させているのかな

自分たちができることは何があるのかな 12・13

<自分も「安心さん」になる>

通学路で...

- ・1年生だけで帰るときも、班長さんみたいに信号をよく見て気をつけて渡るよ

校内で...

- ・学校の中でも廊下を走らないように自分たちでも気をつけて歩くよ
- ・工事中だから、危険注意のポスターをかくよ

<感謝を伝える>

- ・ありがとうと伝えたい
- ・自分からにこにこの挨拶をしたいな
- ・心配をかけないように〇〇をがんばるよ

羽根井小は安心がいっぱいでうれしいな! わたしもがんばるぞ!

1学期実践

- 「羽根井小が大好き!」
- ～がっこうとなかよし～
- ・なかよし探検
- ・学校探検
- ・先生探検

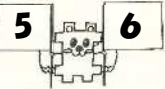
◇ ICT 機器の活用

★ 活動へのてだて

<てだて>



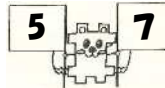
◇ 写真・動画の提示  
興味関心の高まり



◇ 写真・動画の撮影・提示  
より身近な教材へと変換

◇ コラボ・マイノート  
発見や気づきをメモ

★ 今まで気づけなかった安全を守っている人々や施設・設備に着目できるように、探検で見つけたことや気づいたことの情報交換する場を設ける。



◇ 写真・動画の提示  
教科内容の深い学び

◇ コラボ・寄せ書き  
共通の土台づくり

★ 自分たちの登下校の安全を守ってくれている人の存在や思い・願いを考えたり、確かめたりできるように、人々の活動の様子の写真を掲示したり、メッセージを提示したりする。

★ 学習したことをこれからの自分の生活に置き換え、新たな思いや願いをもって毎日を過ごすことができるように、自分の行動を振り返ったり、何ができるかを話し合ったりする時間を設ける。

わがわが

あそび

くまぐま

5 本時の構想

(1) 目標

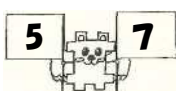
○通学路で出会う人々の様子をみんなで伝え合うことで、安全を守ってくれているさまざまな人々の存在や働き・役割を知り、自分と関わる人々の思いや願いを考えることができる。

(思考・判断・表現)

(2) 授業構想

本時では通学路で出会う人々が通学時に何をしているのかについて、登下校中に気づいたことや見つけたこと、会話した時の内容、毎日の生活の中での交流等からわかったことや知っていることをみんなで伝え合う。さらに、黒板に「安心さん」たちの写真を貼ったり、登下校時の様子の動画を見せたりすることで、通学路で安全を見守っているさまざまな人々の存在や働き・役割について考えさせていく。通学時に自分たちと関わっている人々が、天候や時間的な問題等、大変なことや苦勞することがあるはずなのに、なぜ毎日のように自分たちと関わり続けてくれているのかと投げかける。そこで、グループで話し合う活動を取り入れて自分たちなりの考えを引き出す。その中で、通学時の安全を真剣に守ってくれていることに気づけるよう、その人々の子どもたちへの思いや願いについて考える場を設定する。そして、交通指導員の大河さんからのメッセージを提示することで、自分たちの考えたことが合っていることを確かめたり、他の人々の思いや願いを自ら確かめに行こうとしたりする子どもたちの姿を目ざしたい。

(3) 本時での ICT 機器の活用

	通学路にいるさまざまな人々の存在や働き・役割について考えられるように、写真を掲示したり、動画を提示したりし、発言の支えとする。また、コラボノートに記入した人々の存在や働き・役割についての個々の気づきをまとめたものを、大型テレビに映して全体で共有する。
---	---

(4) 展開

時間	学習活動	・予想される活動や反応	◇ICT 機器の活用	★てだて	◎評価
----	------	-------------	------------	------	-----

通学路にいる「安心さん」はいつも何をしているのかな



<校長先生> ・通学路のいろいろなところに立っていてくれるよ ・笑顔で挨拶してるよ ・いつも話しかけてくれるよ	<旗当番の人> ・毎日同じ場所に旗を持って立っているよ ・お母さんも旗当番をやったことがあって、順番なんだよ
<晴久先生> ・車に気をつけて横断歩道を渡してくれるよ ・黄色の旗を持って守ってくれるよ	<学友団の班長さん> ・登校する時、歩くスピードを考えてくれるよ ・手をつないで一緒に歩いてくれたよ
<地域の人> ・近所のおばさんが「いってらっしゃい」といつも言ってくれるよ ・朝、いつも同じところで待ってくれるよ	<交通指導員の大河さん> ・朝は緑の通学路、帰りは赤の通学路にいてくれるよ ・交通安全教室で教えてもらった手の上げ方で道を渡ると、ほめてくれるよ

朝は忙しいから旗当番の日は大変だって話していたよ

集合場所に遅れちゃった時、困った顔をしていたよ

大雨の時やすごく暑い日もずっと立ってってくれるよ

・どの人も羽根井小みんなの安全を守る「安心さん」なんだね  
 「安心さん」でも、大変な時や苦勞していることがあるみたいだよ

20

どうして「安心さん」を毎日続けているのかなあ

★通学路にいるさまざまな人々の存在や役割に気づかせたり、人々の子どもたちへの思いや願いを考えたりできるように、グループでの話し合いの場を設定する。

<校長先生> ・わたしたちが元気に学校へ来ているか見ているんだよ ・わたしたちが事故にあわないように心配をしてくれているんだ	<旗当番の人> ・わたしたちが事故にあわないように交代で気をつけてくれるんだ ・忙しいから、交代でわたしたちを見守ってくれているんだよ
<晴久先生> ・わたしたちが安全に来ているか心配しているんだよ ・わたしたちが車にぶつからないように守ってくれているんだね	<学友団の班長さん> ・わたしたち班の子が無事に学校に来れるように気にしてくれているんだよ
<地域の人> ・元気なわたしたちを見るのがうれしいんじゃないかな ・わたしたちの元気な挨拶がきくと好きなんだよ	<交通指導員の大河さん> ・朝も帰りもわたしたちが安全に歩けるように考えて、交通整理をしてくれているんだよ ・わたしたち羽根井の子のことをずっと大事に思ってくれているんだ

わたしたち  
 羽根井の子  
 のためなんだね

◎伝え合いや話し合いから、自分との関わりがある人々が安全を守っている存在だと気づき、その人々の思いや願いについて考えることができたか。  
 (話し合い・振り返りの様子)

40

通学路の「安心さん」は本当にわたしたちのことを考えてくれているんだ!

交通指導員の大河さんの手紙

・大河さんは、本当にわたしたちのことを考えてくれていて、本物の「安心さん」なんだね  
 ・校長先生や晴久先生にも気持ちを聞いて確かめたいな  
 ・お母さんにどんな気持ちで旗当番をやっているか、もう一度聞いてみるよ